

ボツワナ共和国月報(2018年12月)

主な出来事

【内政】

- 2019年総選挙の選挙人登録期間を延長
- マシシ大統領, 5つの閣僚ポストをシャッフル
- ベンソン・モイトイ地方自治開発大臣の解任

【外政】

- 新外交団の任命
- マシシ大統領, ポーランドで開催のCOP24に参加
- マシシ大統領, SADC及びICGLRのジョイントサミットに参加

【経済】

- 政府, 耕地農業干ばつ軽減措置を発表
- ボツワナ鉄道, ハボロネーロバツェ間の列車の運行を休止

【文化】

- 南部アフリカ地域ユース大会の開催

※当地メディア記事等を任意に引用した内容です。

【内政】

○ 2019年総選挙の選挙人登録期間を延長

6日, 独立選挙委員会は, 低い登録数のため, 2018年12月17日を期限としていた選挙人登録を2019年3月31日まで延長すると発表した。モチュディ・ウェスト(Mochudi West)地区では44, 197名が登録権利があるものの, 18, 732名しか登録しておらず, 同様にモチュディ・イースト(Mochudi East)地区では47, 463人中18, 572名しか登録していないといった状況である。(13日:デイリー・ニュース紙)

○ マシシ大統領5つの閣僚ポストをシャッフル

11日, ボツワナ政府は, プレスリリースを通じ新たな閣僚人事を発表した。プレスリリースによるとマシシ大統領は, オンコカメ・キツォ・モカイラ運輸通信大臣を環境・天然資源保護・観光大臣に, ドーカス・マカト国家・移民・ジェンダー大臣を運輸通信大臣に, ツェケディ・カーマ環境・天然資源保護・観光大臣を青少年地位向上・スポーツ文化開発大臣に, タペロ・オロペン青少年地位向上・スポーツ文化開発大臣を高等教育・研究・科学技術大臣に, ンガカ・ンガカ高等教育・研究・科学技術大臣を国家・移民・ジェンダー大臣にそれぞれ任命した。(11日:政府プレスリリース)

○ ベンソン・モイトイ地方自治開発大臣の解任

19日、マシシ大統領は、ベンソン・モイトイ(Venson-Moitoi)地方自治開発大臣を大臣職から解任し、フランス・ヴァン・デル・ウェスタン(Frans Van Der Westhuizen)農業開発・食料安全保障副大臣を地方自治開発大臣に任命した。なお、農業開発・食料安全保障副大臣にはコンスタンティノス・マーカス(Konstantinos Markus)氏を任命した。ベンソン・モイトイ氏は解任される前日に、与党ボツワナ民主党(BDP)の党首に立候補する意志を表明し、その翌日に解任された。(19日:メヒ紙オンライン版及び20日:デイリー・ニュース紙)

【外交】

○ 新外交団の任命

マシシ大統領は、ゼネネ・シノンベ(Zenene Sinombe)駐南ア高等弁務官を駐エチオピア大使兼アフリカ連合常駐代表に、ラメック・ンテケラ(Lameck Nthekela)駐スウェーデン大使を駐南ア高等弁務官に、デューク・レフオコ(Duke Lefhoko)元教育副大臣・元通商産業副大臣を駐ケニア高等弁務官兼UNEP・UNHABITAT常駐代表に、チャンダピワ・ンテタ(Chandapiwa Nteta)外務国際協力省副儀典長を駐スウェーデン大使にそれぞれ任命した。(3日:デイリー・ニュース紙)

○ マシシ大統領、ポーランドで開催のCOP24に参加

3日、ポーランドのカトヴィツェで開催されたCOP24に参加したマシシ大統領は演説において、ボツワナがパリ協定の約束を果たせるかどうかは、先進国からの財政支援次第であると述べた。また、ボツワナのSDGsの採用もパリ協定に準ずるものであり、SDGsのほとんどがボツワナの国家計画においてメインストリーム化されていると胸を張った。(4日:デイリー・ニュース紙)

○ マシシ大統領、SADC及びICGLRのジョイントサミットに参加

26日、マシシ大統領は、ダウ外相と共に、コンゴ・ブラザビルで開催されたSADC及び大湖地域国際会議(ICGLR)のジョイントサミットに出席し、他のアフリカ諸国の首脳と共に、大統領選挙が延期されたコンゴ(民)の状況について議論を交わした。マシシ大統領は、完璧な選挙はないと述べ、コンゴ(民)は多くの問題を抱えながらも、選挙の運営者はうまくやっていると評価した。(28日:デイリー・ニュース紙)

【経済】

○ ボツワナの主要経済指標

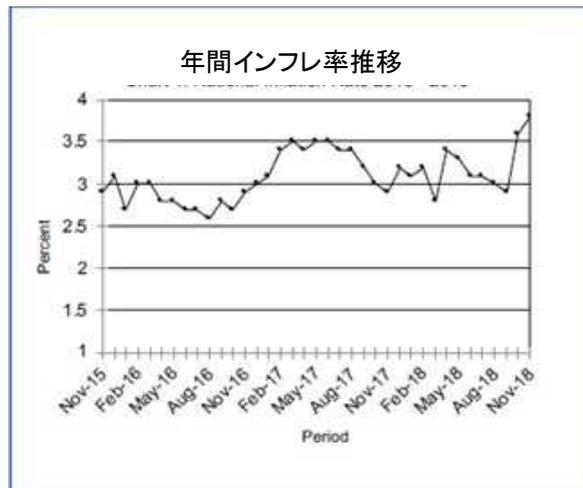
1) 経済成長率(出典:ボツワナ統計局)

2018年第3四半期の GDP は489億1230万プラとなり、第2四半期(469億6740万プラ)と比べて0.5%増となった。(2017年GDP合計は1801億1270万プラ)



2) 年間インフレ率(出典:ボツワナ統計局)

2018年11月は3.8%(10月は3.6%)。



3) 為替レート(出典:First National Bank of Botswana)

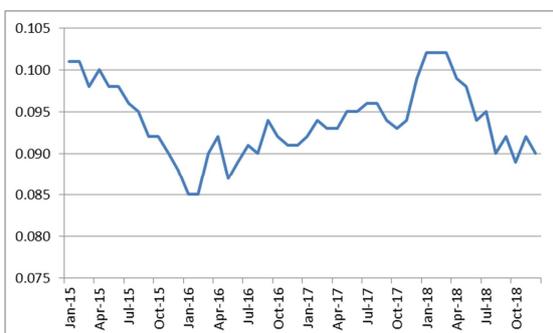
2018年12月31日

- 1プラ=0.090米ドル
- 1プラ=1.288南ア・ランド
- 1プラ=10.09円

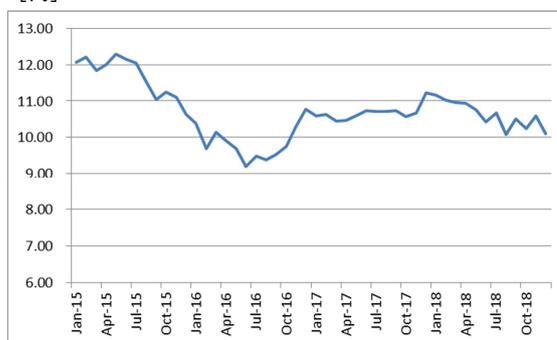
2018年11月30日

- 1プラ=0.092米ドル
- 1プラ=1.251南ア・ランド
- 1プラ=10.60円

[米ドル] 為替推移(1プラ=0米ドル)



[円] 為替推移(1プラ=0円)



○ **ダイヤモンド産業**

1) **デビアス社の第10期ダイヤモンド原石売上げ増加**

デビアス社の第10期ダイヤモンド原石販売会の売上げは、5億4000万米ドルとなり、前年度同時期の売上げから18%増加した。クリーバー・デビアス社CEOによると、同売上げの増加は、予想通りであり、主にインドにおいて休日明けに研磨工場などの操業を再開したことによるものである。(22日:ウイークエンド・ポスト紙)

○ **エネルギー・資源**

1) **BCL社清算人、160名の従業員を政府に通知せず、解雇**

BCL社清算人は、清算手続き中のBCL社鉱山の維持管理のために働いていた510名の内、160名を解雇した。同清算人によると、清算を完了するための費用が不足することが予想されるため、同従業員を解雇した由。モラレ鉱物資源・環境保全技術・エネルギー安全保障大臣は同解雇について知らされていない旨発言した。(5日:ボツワナ・ガゼット紙)

○ **政府、耕地農業干ばつ軽減措置を発表**

政府は耕地農業干ばつ軽減措置を発表した。同措置は、マシシ大統領による2017/18年耕地農業干ばつ宣言の発表を受けて実施された調査の結果、家畜を飼育する環境が悪化することが予想されることを受けて実施されるもの。農業開発・食料安全保障省は、家畜への飼料、ワクチン及び薬購入費用の25%の補助金を農家に提供する。(6日:デイリー・ニュース紙)

○ **ボツワナ銀行、基本割引率・基準貸付利率を5.0%に維持**

4日、ボツワナ銀行は、金融政策委員会を開催し、インフレ率が政府目標の3~6%内となっていることを受け、基本割引率・基準貸付利率(当館注:従来の公定歩合)を5.0%に維持する決定を公表した。(12日:ボツワナ・ガゼット紙)

○ **ヒルトンホテル、2019年に開業予定**

ヒルトン・ガーデン・インは2019年第1四半期に開業する予定である。同ホテルのハリントンGMによると、同ホテルは147室の客室を有し、レストラン、ジム、プール、宴会場などを備えている。同ホテルはサブサハラアフリカ地域におけるヒルトンホテルグループの12番目のホテルとなる。(14日:メヒ紙)

○ **ボツワナ鉄道、ハボロネーロバツェ間の列車の運行を休止**

18日、ボツワナ鉄道はマコシにおける脱線を受け、ハボロネーロバツェ間の通勤列車の運行を12月17日から追って通知があるまで休止する旨発表した。ハボロネーロバツェ間の通勤列車はボアトル・ゲームシティー道路計画が始まって以降悪化した渋滞を避けるために今年初めに導入されていた。(19日:ボツワナ・ガゼット紙)

【文化】

○ ボツワナ空手協会会長, コモンウェルス空手連盟の第三副代表に

バタイ・ボツワナ空手協会会長はダーバンにおいて開催されたコモンウェルス空手連盟選挙会合において、第三副代表に選出された。任期は四年間で、バタイ氏はボツワナ人で初めてコモンウェルス空手連盟の要職に就任した。なお、代表及び財務責任者は南ア、第一副代表はイギリス、第二副代表はインド、事務局長はカナダから選出された。(3日:モニター紙)

○ 南部アフリカ地域ユース大会の開催

リージョン5(南部アフリカ地域)ユース大会が12月7日から16日にかけてハボロネで開催された。同大会にはアンゴラ, ボツワナ, レソト, エスワティニ, マラウイ, モザンビーク, ナミビア, 南ア, ザンビア, ジンバブエの20歳以下の選手が参加し, サッカー男子についてはタンザニアもゲストとして参加した。